

“驚き・発見！ねん土でつくろう夢の家”

- 日 時:平成 25 年 8 月 3 日(土)13:30~17:00
- 会 場:神戸市埋蔵文化財センター3 階研修室
- 参加者:神戸市内の小学生 27 名とその家族

毎年夏休みの恒例となったこのセミナーですが、今年は 27 名の小学生とその家族が参加されました。広い研修室なのですが、椅子と椅子の間を通過するのがやっとというぐらい人が集まってくださり、うれしい悲鳴でした。



第 1 部は、埋蔵文化財センターの学芸員さんや当委員会のメンバーによる、大昔の住宅・現在の日本では考えられない材料で造られた世界の住宅・シロアリや蜂の家などの事例紹介があり、メモを取ったりデジカメで写したり、特にクイズを交えての話では、手をあげて大声で答えるなど元気いっぱいの子供たちでした。



休憩時間は、形状の違う梁におもりを載せてみる実験、免震効果をためす実験をしてみたり、階下の埋蔵文化財展示室を見に行く人もいました。

続く第 2 部はお待ちかねの粘土の家づくりに挑戦の時間。茶色の埴輪粘土や白い紙粘土をベースに、木の枝・松ぼっくり・貝殻……を使って家族一丸となつての作業です。どんな家にするかなかなか決まらない子供たちもいましたが、なんとか時間内には皆さんの前で紹介できる形になりました。古代人が着ていた貫頭衣を着て、作品を手にも、達成感いっぱいの笑顔で記念撮影をしたものを、博士認定証に貼ってもらってとてもうれしそう。親子の共同作業で夏休みのいい思い出になったのではないのでしょうか。(KT 記)



♪♪ 力作の一部を紹介します。紹介できなかった方はごめんなさい。
どれもすばらしかったんですよ ♪♪♪

